

千葉県銚子市沖における協議会（第5回）

○日時

令和7年3月28日（金） 14時00分～15時35分

○場所

ホテルポートプラザちば 2階 ロイヤル

○参加者

（構成員）

経済産業省 資源エネルギー庁	
新エネルギー課 風力政策室 室長	古川 雄一
国土交通省 港湾局 海洋・環境課	
海洋利用調査センター 所長	佐渡 英樹
農林水産省 水産庁	
資源管理部 管理調整課 計画官	森田 浩史
千葉県商工労働部 部長	野村 宗作
銚子市 市長	越川 信一
旭市 企画政策課 課長	柴 栄男
千葉県漁業協同組合連合会 代表理事会長	坂本 雅信
銚子市漁業協同組合 副組合長理事	和田 一夫
海匠漁業協同組合 代表理事組合長	土屋 青市
関東旅客船協会	
（代理：有限会社銚子海洋研究所 所長）	宮内 幸雄
東京理科大学 創域理工学部	
社会基盤工学科 嘱託教授	菊池 喜昭
一般財団法人 日本エネルギー経済研究所 理事	工藤 拓毅
一般社団法人 海洋産業研究・振興協会	
事務局長兼研究部長	塩原 泰
一般社団法人 海洋エネルギー漁業共生センター	
理事	渋谷 正信
足利大学 総合研究センター 特任教授	永尾 徹

千葉銚子オフショアウィンド合同会社
プロジェクトディレクター
(オブザーバー)

伊原 弘雅

環境省 大臣官房環境影響評価課
環境影響審査室 課長補佐

山田 陽巳

経済産業省（事務局）

- 経済産業省（事務局）より参考資料 1 の協議会運営規程の改正案について説明。
- 構成員による推挙及び座長からの指名により、座長を永尾構成員、副座長を渋谷構成員と選任された。

足利大学（座長）

- 選定事業者が決定している現在、公開の方法として、引き続き議事録、議事要旨の公開を行うこと、一般の方や報道関係者による傍聴を認めることを前提に、YouTube による配信は行わずに進めることとする。

千葉銚子オフショアウィンド合同会社

- 進捗報告の前に、事業全体の状況について、一言申し上げる。
2021 年 12 月に事業権を落札して以降、事業に携わる様々な関係者の協力の下、約 3 年間に亘り、事業開発を進めてきたところ。
関係者のご協力・ご理解を得て風車レイアウトを定めるに至り、名洗港の利用については、千葉県庁と整備に関する協議を大方終えている。送電線敷設に向けた陸上管路工事については、自治体による道路工事と同調する形で、一部区間で先行工事を実施したところ。
- 一方、この 3 年間で、資機材価格の高騰、サプライチェーンの逼迫、大幅な円安の進行など、事業を取り巻く環境は一変しており、資料 3（別添）のとおり、先月初旬に、事業者の株主によるプレスリリースによって公表されたとおり、本事業も環境の変化に多大なる影響を受け、事業性再評価が必要との判断に至っている状況である。

関係者の皆様には、大変ご心配をおかけしている状況だが、この事業環境の変化に対して、取り得る様々な手を尽くして、株主と共に、現在事業の見直しに取り組んでいるところ。

- 見直しの内容については、コントラクター等との協議を通じて、コストやスケジュール等の事業の根幹となる、あらゆる要素を見直すことも含まれているが、詳細については守秘義務があり、現時点では説明できないことをご理解いただきたい。
- また、現時点においては、再評価の完了時期は未定であるが、事業者としても、出来るだけ早期の完了を目指しているところ。従って、今回の法定協議会においては、環境影響評価及び地域共生の進捗に絞ってご説明させていただくこと、あらかじめご了承ください。

○議題

(1) 発電事業者のこれまでの取組について【報告事項】

- 千葉銚子オフショアウィンド合同会社より、資料3（千葉県銚子市沖洋上風力発電事業概要）について説明。

千葉県

- 県としても、洋上風力、地域経済の活性化に非常に寄与するものとして期待しており、事業者が事業を着実に進めていただいていることに非常に期待を持っていたところ。
- 世界的に洋上風力発電事業を取り巻く環境が厳しくなっていることは承知しているが、そうした中で、事業性再評価の実施や、減損を計上されたことに関して、県としても大変驚いた。
- こうした事業性再評価の検討や今後の対応方針等については、守秘義務等があっても、難しいことは十分承知しているが、我々としては、報道で知るのではなく、事前に事業者から直接話を伺いたい。この点については、県として地元関係者の方にも同様をお願いしたいと考えている。
- 銚子市沖第1ラウンドの事業ということで、我々としては日本の洋上風力の先駆けになる事業と思っているところ。地域としては非常に期待しているビックプロジェクトであり、県としては、計画通り事業を完遂していただきたいと思っている。

銚子市

- 市長としては、事業者には、今回の事業性の再評価を行った上で、何としても、このプロジェクトを継続していただきたい。そして、銚子市沖の洋上風力事業を、できるだけ早期に実現していただきたいと考えている。
- 洋上風力発電事業には多くの市民が期待を寄せているところ。地元産業への波及効果、雇用の創出、洋上風力を生かした観光の振興など、様々な波及効果が見込まれている中で、洋上風力をきっかけとして、三菱商事には、銚子支店を開設いただくとともに、銚子市との連携協定を結んでいただき、様々な地域連携事業を進めていただいているところ。
- 銚子は人口5万4千人、食品産業と観光を核とする町であります。洋上風力をきっかけとして、三菱商事をはじめ、関係の皆様と一緒にまちづくりができることを期待している。
- 事業性再評価の発表にあったとおり、事業者選定以降、インフレ、円安等、事業環境の大きな変化があったことは十分に理解をしているところ。一方で、国も様々な対策を講じており、事業者には、企業努力による事業性の確立のみならず、銚子市沖の洋上風力発電事業を、何としても実現していただきたい。

千葉県漁業協同組合連合会

- 事業性の再評価、そして、会社として減損処理をするとのことだが、我々としては非常に驚いている。そして、再評価の結果は、協議会のような場では話ができないということだが、このようなことは、我々からすると、不安を募らせることになる。速やかに事業性の再評価の結果を出し、そして速やかに、かつ、丁寧に、我々に説明をしてもらいたい。もちろん、対外的に公表をすると同時に、というような形で、しっかり行っていってほしい。
- 我々としては、発表の後で、実際詳細を知らなかったということになると、まさにその信頼を失うという形になるので、そこについては、繰り返しお願いを申し上げる。
- 漁業共生の1つとして、漁業振興基金がある。この基金は、既に3年間、事業者から出捐をいただいております、その中でしっかりと漁業

振興のために使わせていただいているところ。

- この3年の間に、例えば、水産庁は、「海業」という漁業に対する新たな取組を、政策として打ち出しているところ。千葉県としても漁協が海業をやりたいと手を挙げている。これはまさに漁業の振興であるため、そういった取組に対しても、基金をしっかりと使えるようにしているところ。
- 今の漁業を取り巻く状況からすると、後継者の育成が非常に重要であり、後継者の育成等に対する支援も、まさに漁業の振興策の1つであることから、我々としては、前広に漁業振興策を我々も打ち出し、公平性や透明性を確保しながらしっかりやっていきたいと考えており、その辺をよろしく願いしたい。

(2) 地元関係者の漁業振興策等の取組について【報告事項】

- 銚子市、旭市、千葉県漁業協同組合連合会より、漁業との協調・共生・振興のための基金について、それぞれ資料4-1、資料4-2、資料4-3により報告。
- 銚子市漁業協同組合より、漁業との協調・共生・振興のための基金を活用して実施している漁場実態調査の概要について、資料5により説明。
- 一般社団法人 海洋エネルギー漁業共生センターより、漁場実態調査の詳細について、資料5により説明。

日本エネルギー経済研究所

- 事業者の取組の説明を含め、この事業が、再エネ海域利用法上のフロントランナーになると思われる。これらの実績については、社会全体での注目度も高い案件と思われる。協議会意見とりまとめに書かれている洋上風力と漁業の共存共栄を目指すということ及び、基金の運営に当たっては、公平性・中立性・透明性をしっかり維持しながら取り組んでいただきたい。
- 基金の実績等報告では、監査等のプロセスを入れて透明性を確保しているという説明だったが、一般的な透明性というのは情報を開示することだと考えており、次回以降、議会や監査法人等への説明内容等を含めて、可能な範囲でエビデンスを公表していただ

ると、他の協議会でも参考になるのではないか。

- 特に、基金活用委員会の中で、どのような形で支援していくか、ガイドライン的なものがあるのか、どういった背景等で、その振興策を行うという判断をしたのかということは、他の協議会でも参考になると思われるため、情報開示、透明性の観点で、配慮いただけるといいのではないか。

銚子市

- 基金については、これまで、監査委員による監査や、市議会の決算による審議を行っているところ。協議会での公表の方法について検討し、もう少し広い意味で開示させていただく方向で考えたい。

千葉銚子オフショアウィンド合同会社（議題1に係るコメント）

- 繰り返しになるが、事業者としてあらゆる手段を尽くして事業性再評価を全力で進めているところ。
- 千葉県、銚子市、千葉県漁業協同組合連合会からの意見について、事業者として大変重く受け止めている。特に、地元の皆様に大変ご心配をおかけしており、一日でも早く、今後の方向、方針を皆様にお知らせできるよう努めてまいりますので、ご理解をいただきたい。

経済産業省（事務局）

- 次回の協議会については、事業の取組状況や基金を用いた漁業振興策等の実施状況等を踏まえて、改めて、開催時期や議事内容をご相談させていただきたい。

足利大学（座長）

- 事務局及び選定事業者においては、本日の議論を踏まえ、次回以降に向けて、準備をお願いしたい。

以上